

宜野湾高校の生徒達へ（3）

「宜野湾高校の生徒達へ(1)」で、私が大学浪人時代に「生きる意味」について悩んだことに触れました。家を整理していたらその時に書いた文章が見つかりました。少し長くなりますが、紹介します。

「高3の頃、私は少なくとも自分の人生の目標を持っていると思っていました。教師になり、子どもたちの持っている悩みなどを親身になって考える。そのことによって子どもたちと共に自分自身も成長すると思っていたのです。ところがよくよく考えてみると、本当にそう思っているのかと思い始めたのです。もしかして、私は周囲の人たちの『教師は天職だよ。一生をかけてもいいような仕事だよ』を深く考えもせず受け入れていたのではないのか。

ここで問題となるのは、『私の理想とする生き方はどのようなものか?』ということです。この問いに対するヒントを得ようと本も読みました。親戚の叔父さんの話にも耳を傾けました。いろいろな生き方や考え方があるのだなと思いました。しかし、『いったい何が自分の歩むべき道か』という問いに対しては、ますます分からなくなっていました。悶々とした日々が過ぎていきました。

ところが最近、近くの図書館で本を探していると一冊の本が目に入り拾い読みしてみると、なるほどと思わせる箇所がありました。『人はそれぞれに個性がある。もし自分の内奥の本性から湧き出る考えに従って生きれば、人生はあなたのものになる』。この文章に触れた時、私の心の中に一筋の光が差し込んだような気がしました。

これから私は、自分の心の奥の呼びかけに忠実に、そして他人の意見をうのみにせず自分自身のより深いところにあるものでもって点検し、消化し、分析した上で、それが自分の本当の気持ちに合致するかどうか確かめた後に自分のものにしていきたいと思います。いろいろと辛いこともあるかもしれませんが、けれど私はそんなものに負けないつもりです。踏まれても踏まれても決してくじけることのない雑草のように。」

4月から続く休校という厳しい状況の中、皆さんにはたっぷりの時間があります。学校が例年通りであれば「生きる意味」について考える余裕などなかったでしょう。「宜野湾高校の生徒達へ(2)」でも触れたように、「どんな時も、人生の意味があり」、その意味を発見するのはあなた自身なのです。

私の今の心境を語ってくれる楽曲が、RADWINPSの『正解』なのでそれを紹介します。

「ああ 答えがある問いばかりを教わってきたよ。
だけど、明日からは僕だけの正解を、いざ探しに行くんだ。
また逢う日まで。

次の空欄にあなたの考えを書きなさい。
ここでの最後の問い。

『私の良さを活かした生き方は、。』

制限時間は、あなたのこれからの人生。

解答用紙は、あなたのこれからの人生。

答え合わせの時に、私はもういない。

だから、採点基準は、あなたのこれからの人生。

『よーい、はじめ』